

# 第105回全国高等学校野球選手権記念宮城大会

□大会第12日目 7月22日(木)

準決勝 楽天生命パーク宮城 2 時間 34分

東	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
仙	1	3	0	2	1	0	0	1	X			8

【東】	31	7	1	0	2	0	10	8	2	3
【仙】	33	15	6	4	2	3	2	8	5	1

(球) 佐藤 拓哉 (一) 布田 秀斗 (二) 森山 宏則 (三) 小倉 貴仁  
 【東】 佐藤和, 前田, 佐藤雅 (一) 小竹森  
 【仙】 田中, 武藤 (一) 尾形  
 ▽暴投 なし ▽捕逸 なし

▽本塁打 尾形(仙)  
 ▽三塁打 湯浅(仙)  
 ▽二塁打 なし (東) 田中, 鈴木, 湯浅 (仙)

【 仙台育英 】		打数	安打	打点
(中)	橋本 航河	5	3	0
(遊)	山田 脩也	3	2	2
(三)	湯浅 桜翼	4	3	3
(右)	齋藤 陽	3	0	0
(一)	齋藤 敏哉	3	1	0
走	濱田 大輔	0	0	0
二	登藤 海優	0	0	0
(左)	鈴木 拓斗	4	1	0
(捕)	尾形 樹人	4	2	1

【 東 陵 】		打数	安打	打点
(二)	今野 悠貴	4	2	1
(中)	嶋原 琉仁	4	0	0
(捕)	小竹 森 尊	4	2	0
(右)	金澤 晴人	3	0	0
(左)	菅野 颯良	4	0	0
左	堀江 竜生	0	0	0
(三)	奥山 遼琉	4	1	0
(一)	八 泰 翔	3	1	0
(遊)	中村 蓮	3	1	0
(投)	佐藤 和希	1	0	0
投	前田 直哉	0	0	0
打	新沼 空大	1	0	0
投	佐藤 雅人	0	0	0

投手名	打数	投球数	球速	球威	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ホーク	失点	自責点
田中 優飛	21	100	5	0	5	0	1	0	6	0	0	0	0	1	0
武藤 陽世	10	46	3	0	2	0	1	0	4	0	0	0	0	0	

投手名	打数	投球数	球速	球威	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ホーク	失点	自責点
佐藤 和希	8	48	1	2	4	0	1	1	1	1	1	0	0	4	1
前田 直哉	19	73	4	1	8	1	0	0	1	0	0	0	0	3	3
佐藤 雅人	6	28	1	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0

【評】  
 初回に先制点をあげた仙台育英が5本の長打を含む15安打で着実に追加点を重ね、守っても田中・武藤両投手が東陵打線を1点に抑えて8回コールドで勝利した。  
 仙台育英は、2回山田の犠飛で1点、初回に先制適時打を放っていた湯浅の中越3塁打でさらに2点を追加した。4回にも山田の右前適時打などで2点、5回には尾形の右越本塁打で7点目をあげた。  
 東陵は、5回中前打の中村が犠打失・牽制悪投で3塁に進み、今野の二ゴロで生還して1点を返したが、仙台育英の先発田中・二番手武藤に要所を抑えられた。  
 仙台育英は、8回裏1死から中前打で出塁した橋本が、山田の遊撃内野安打と3塁への悪送球で生還して、7点差をつけてコールドゲームを成立させた。

# 第105回全国高等学校野球選手権記念宮城大会

□大会第12日目 7月22日(木)

準決勝 楽天命パーク宮城 2 時間 18 分										打安点盗犠四三残失併											
利府	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	【利】	30	5	1	0	2	4	7	8	1	0
仙台南	0	1	0	0	0	1	0	0	X	2	【仙】	23	3	2	0	6	3	7	6	1	0
(球) 西山 充 (一) 雁部 博昭 (二) 山館 浩樹 (三) 曾根 徳明 【利】 小酒井 凱人 曾我 颯人 太田 貴大 【仙】 安住 馨祐 岡村 太貴										▽本塁打 なし											
▽暴投 小酒井1, 亀谷1(利), 安住1(仙)  ▽捕逸 なし										▽三塁打 佐藤龍(仙) ▽二塁打 なし(利)(仙)											

【利府】	打数	安打	打点
(中) 本田 寛明	4	1	1
(右) 佐藤 聖民	3	1	0
(遊) 投遊 亀谷 晋之	4	0	0
(三) 万城目 琳	3	1	0
(一) 渡邊 慶太	4	0	0
(捕) 太田 真斗	3	1	0
(左) 鈴木 晶礼	2	0	0
打 高山 誠匠	0	0	0
走左 佐々木 新	0	0	0
打 横田 大輝	1	0	0
(二) 阿部 太翼	3	1	0
(投) 小酒井 凱	1	0	0
遊 鈴木 大和	1	0	0
投 曾我 颯人	0	0	0
打 本多 藍仁	1	0	0

【仙台南】	打数	安打	打点
(右) 佐藤 椋真	3	1	0
(遊) 武藤 就貴	2	0	0
(中) 柿崎 創	3	0	0
(左) 山崎 恭輔	4	0	0
(三) 佐藤 龍翔	4	2	0
(一) 植野 広大	2	0	0
(捕) 岡村 太貴	1	0	1
(二) 池田 証道	1	0	1
(投) 安住 馨祐	3	0	0

投手名	打数	投球数	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自责点
小酒井 凱人	12	61	4	0	2	0	3	1	2	2	1	1	0
亀谷 晋之介	8	43	3	0	1	0	1	1	5	0	0	1	1
曾我 颯人	3	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

投手名	打数	投球数	被安打	本塁打	犠打	犠飛	三振	四球	死球	暴投	ボーク	失点	自责点
安住 馨祐	30	143	9	0	5	0	2	0	7	2	2	1	1

【評】  
 1対0で仙台南がリードして5回のグラウンド整備。利府が4回、ライト佐藤賢がファインプレー。5回、イニング途中で投手交代した亀谷が連続三振を取って、利府が盛り返してきた。両チームの持ち味を出した前半後半のドラマを予想させた。  
 6回表利府は先頭阿部の安打に始まって、犠打、1番本田の適時打で同点。さらに犠打で進めて二死三塁にしたが後続が抑えられた。利府を1点に抑えた城南の守備。6回二死二塁の一塁左へのゴロを好捕、投手への送球も捕球も完璧にプレーした。8回には1死二三塁から三振をとり、申告敬遠の後、投手への強いゴロがグラブに当たってセカンドへ、諦めずに一塁へ送球。こういう1つ1つのアウトが城南を勝利に近づけた。  
 城南は2回に一死二三塁で8番池田がレフトに犠飛、同点の6回には1死三塁で7番岡村がレフトに犠飛で2点目。攻撃陣はヒット3本での2点だった。先発完投の安住の投球は後半まで力を失わずマウンドでも安定していた。守備も投手を支えてつかんだ勝利。準決勝で会心のゲームをした。